

松江だんだん

会報第17号

【令和8年度（2026年）】



新庁舎竣工記念植樹《令和8年5月》

近畿松江会

会 歌 「ふるさと松江」

作詞 近畿松江会

《募集歌詞 17 編のうち 5 編（計 10 編目）》

1 しおみなわて かんでんあん
塩見縄手 菅田庵

やくもきゆうきょ ふまいこう
八雲旧 居 不味公

こいすみやくも ふんか えん
小泉八雲 文化がご縁

だんだんまつえ ふるさと
だんだん松江

作詞 菊田運三郎（浜乃木）

2 あき そら どう ね
秋の空に 鑿の音

きそ う じまん
競いあいの 打ち自慢

ひび わた でんとうつな
響き渡れ 伝統繋ぐ

だんだんまつえ ふるさと
だんだん松江

作詞 茂居理智子（豎 町）

3 かみありつき そらたか
神在月の 空高く

とどろ どう おと
轟 きわたる 鑿の音

ごこくほうじょう ねが
五穀豊 穰 みんなの願い

だんだんまつえ ふるさと
だんだん松江

作詞 松本耕司（上本庄町）

4 しんじ こ あさゆうなが さいかよんちゅうまなびや
宍道湖朝夕眺めて 雑賀四 中 学舎

いじん ほま
偉人あふるる さいかの誉れ

まつ え よ こころ
松江良いところ 心 から

だんだんまつえ ふるさと
だんだん松江

作詞 木村恵吉（雑賀町）

5 みず みやこ いしばし
水の 都 石橋

さけ しょう ゆ くら まち
酒や 醤油 蔵の町

どうぎょうれつ れきし
鑿 行 列は 歴史あり

だんだんまつえ ふるさと
だんだん松江

作詞 田中裕子（石橋町）

曲は ふるさと 故郷 作曲 岡野貞一

「うさぎ追いし かの山・・・」

※ 近畿松江会では 15 周年（2022 年）を記念して、6 番以後の歌詞を募集し、16 作品（広域編 7 編、地域編 9 編）を採用しました。本号には前号 5 編に続く 5 編を掲載しました。

※ 募集を継続しますので事務局まで封書・ファックス・メールにて応募してください。

松江だんだん 近畿松江会 会報第17号

目 次

表紙題字	「近畿松江会 元顧問」 故和田亮介氏	
会歌「ふるさと松江」募集歌詞のうち5編	・ ・ ・ ・ ・ 作詞 歌詞末尾記載	
目 次	・ ・ ・ ・ ・	1
ご 挨拶 松 江 市 長	上 ^{うえ} 定 ^{さだ} 昭 ^{あき} 仁 ^{ひと} ・ ・ ・ ・ ・	2
近畿松江会 会長退任	松 ^{まつ} 本 ^{もと} 耕 ^{こう} 司 ^じ ・ ・ ・ ・ ・	3
近畿松江会 会長就任	竹 ^{たけ} 谷 ^{たに} 奨 ^{すすむ} ・ ・ ・ ・ ・	3
令和7年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・	4
令和7年度収支決算報告	・ ・ ・ ・ ・	5
令和8年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・	6
令和8年度収支予算書	・ ・ ・ ・ ・	7
令和8年度 第17回総会・懇親会報告	・ ・ ・ ・ ・	8
功労者感謝状を受賞して	・ ・ ・ ・ ・	14
◆武田 貞雄 ◆木幡 晃正 ◆松尾 年浩		
総会・懇親会参加者名簿	・ ・ ・ ・ ・	18
=====		
落語 桂弥っこ	・ ・ ・ ・ ・	19
小泉八雲の怪談にちなんだ演目「雪女」		
=====		
寄稿集 わがふるさと“松江だんだん”	・ ・ ・ ・ ・	20
◆仲間とふるさと「松江」旅	中 庭 陽 子	
◆『大根島の魅力発信プロジェクト』の紹介	竹 谷 奨	
近畿松江会 令和8年度役員名簿	・ ・ ・ ・ ・	22
会員名簿（出身町・小中学校区別）	・ ・ ・ ・ ・	23
運営協力金、総会・懇親会寄付金、双樹学院支援金寄付者名簿	・ ・ ・ ・ ・	27
広 告	・ ・ ・ ・ ・	28
お知らせ・編集後記・表紙（写真）について	・ ・ ・ ・ ・	32

■ご挨拶（近畿松江会の皆様） 松江市長 上定 昭仁



近畿松江会の皆様には、日頃より松江市の市政運営に温かいご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

去る5月31日に開催された、近畿松江会の創立20周年を記念する第18回総会では、皆様と一緒することができ、楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。

本総会をもってご退任されました、松本耕司前会長をはじめとする役員の皆様には、本市の発展にご尽力いただきましたご功労に心より感謝申し上げます。そして、このたびスタートした新体制におかれましても、竹谷奨会長のリーダーシップの下、大いにご活躍されるものと確信いたしております。

加えて、5月16日の松江市役所新庁舎グランドオープンに当たっては、東京松江会、広島ふるさと松江会の皆様とともに、記念樹「ナンジャモンジャ（正式名：ヒトツバタゴ）」をご寄贈いただきましたことに深くお礼申し上げます。本誌表紙に掲載していただきました通り、「ナンジャモンジャ」は元気に育っており、市役所のシンボルツリーとして市民の皆様をお迎えしています。本市では、市役所を憩い・集い・楽しめる「賑わいの拠点」として、最大限活用してまいります。

さて、昨年9月～今年3月には、本市を舞台にしたNHKの連続テレビ小説「ばけばけ」が放送されました。本市の風景や方言、しじみ汁や和菓子などの魅力が広く発信されたことで、今もなお全国から注目を集め、多くの方に訪れていただいています。

このブームを一過性のものとせず、持続的に来訪していただくとともに、市民の皆様の小泉八雲・セツ夫妻に対する顕彰意識が高められるよう、5月17日、市役所本庁1階に『「ばけばけ」ドラマ館』をオープンしました。館内には、ヒロイン・松野トキが家族と暮らした「天国長屋」のほか、ドラマに登場する衣装や小道具を展示し、「ばけばけ」の世界観に没入できるよう設えています。

さらに、八雲とセツの誕生日・命日がある6月・9月・2月を「小泉八雲月間」と定め、市内各所においてシリーズでイベントを開催するなど、引き続き「八雲とセツが出会ったまち・松江」の魅力を高めてまいります。

また、昨年、国宝化から10周年を迎えた松江城天守は、昭和25～30年に行った「昭和の大修理」から70年余りが経過する中で、屋根瓦、壁板の損傷や雨漏りが生じ、大規模な修理が必要となっています。このため、来年6月から「令和の大修理」に着手することを決め、ふるさと納税などによる寄附の呼びかけを始めたところです。登閣できない期間を最短化するとともに、修理中の貴重な天守の様子をご覧いただけるよう工夫しますので、帰省に合わせてお出かけください。

結びに、近畿松江会の皆様には、これからも本市の魅力の発信にお力添えいただきますようお願いいたしますとともに、貴会のますますの発展を祈念しまして、ごあいさつとさせていただきます。

■会長退任のご挨拶 顧問 松本耕司（上本庄町）



私は去る5月末の20周年記念総会をもって第四代の会長を退任いたしました。近畿松江会に参加して20年、直近の8年は会長を務めました、まもなく満80歳となりますので今が交代の時期と考えた次第です。この間、多くの皆様のお支えをいただきましたこと、お名前を挙げる紙数はございませんが、心から厚く御礼を申し上げます。

当会は「平成の市町村大合併」を契機に、松江市からの要請を受け2006年（H18）に発足した、ふるさと会では新しい方の会になります。この20年間、「新型コロナ」で3回も総会を開催できなかった苦しい経験もしましたが、その他は概してなごやかに楽しく運営されて今日に至っており、幸せな創設期であったなと思ひ返しているところです。

私個人の思い出も、発足直前に当時の御堂筋パレードで松江から招いた「鑿行列」の音が響き渡った時の誇らしさ・・・、ふるさとツアーで観覧した「ホーランエンヤ」絵巻・・・、「松江城国宝指定」の感激・・・、NHK朝ドラ「ばけばけ」の放映・・・、昨年末に企画を担当した島根県人会総会と今春の松江会20周年記念総会の連続した二大行事を無事終えた喜び・・・、更に今年の松江市新庁舎の全館供用を祝う「ヒトツバタゴ（別名ナンジャモンジャ：松江城のシンボルツリー）」の記念植樹・・・など、楽しいものが多く、これもすべて皆様のお陰と有難く存じております。

勿論、難しいこともありましたが、皆様のご協力により何とか乗り切ることができましたこと、重ねて感謝申し上げます。発足時の中心となられた先輩皆様には「20年続きました」と報告すれば、何とおっしゃるだろうか？と聞いてみたい気もしている次第です。

最後になりましたが、20歳の近畿松江会を将来に繋いでいくには、何と言っても「会員の拡大」が大事で、私も微力を尽くしたいと考えています。皆様には今後ともご高導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。8年間、本当に“だんだん”でした。

■会長就任のご挨拶 会長 竹谷 奨（八束町）



皆さんこんにちは。

去る5月31日の第20周年記念総会において第5代の会長を拝命した竹谷でございます。近畿松江会発足時より21年間役員として務めて参りました。また第2代荏田運三郎会長、第3代伊藤征治会長、第4代松本耕司会長のもと19年間の長きにわたり事務局をお預かりし、器ではないことは承知しておりますが松本前会長はじめ役員の皆様のご推挙を賜り、この度の大役をお受けした次第です。

松江会の発足時より役員をと申し上げましたが合併を機に旧八束郡八束町（大根島）の代表として任に当たったわけですが、代表と申しましても会員募集の基礎となった近畿島根県人会の名簿に八束町出身者は私だけでしたのでそのようなことになったと記憶しております。

さて、近畿松江会の会員数は現在、151名です。発足以来、加入者があれば退会者ありを繰り返しこの数字をなんとか維持しています。前会長の発案で松江市に在る高校の同窓会とタッグを組み、相互の会員数確保を模索しているところですが、まだまだ太い連係とは言えない状況です。副会長以下役員や会員のお知恵をお借りし、前会長の思いを引き継ぎ、課題の会員数増に臨みたいと考えていますのでご支援を宜しくお願い申し上げ、簡単ではございますが就任のご挨拶とさせていただきます。

令和 7 年 度 事 業 報 告

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月 8日	水		令和8年度年会費納付のお願い発送	
1月10日	金	17:30	全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈 役員2名出席	京都三条加茂川館
1月12日	日		全国都道府県対抗女子駅伝応援	西京極陸上競技場
2月11日	火		令和6年度会計 会計監査	事務局
2月12日	水		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	大阪玉造郵便局
3月13日	木		「双樹学院」支援金(R07年度第1回)贈呈	
4月 1日	火		第17回総会・懇親会案内状発送	
4月25日	金		第24回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
5月24日	土	11:00	第17回総会・懇親会	ニューオオサカホテル
8月下旬			「双樹学院」支援金(R07年度第2回)贈呈	
9月24日	水	10:45	八束学園「大阪商人体験:牡丹等の販売」の応援	天神橋筋商店街3丁目
10月1日			会報第16号発行	
11月 8日	土	11:00	第63回近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
11月14日	金		第25回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
12月17日	水		「双樹学院」07年度第3回)贈呈	
〃	〃		新市庁舎落成記念植樹に係る寄付送金	
			随時役員会開催	

令和7年度 近畿松江会 収支決算書

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

収 入 の 部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
前期繰越金	1,264,095	1,264,095	0	
年 会 費	420,000	339,000	▲ 81,000	113名×3,000円
総 会 費	1,100,000	1,081,725	▲ 18,275	会費8,000円×90名・寄付金・払込手数料差引き後
寄 付 金	150,000	190,000	40,000	運営協力金60名
広 告 料	130,000	211,000	81,000	会報第16号 18件
雑 収 入	1,000	2,287	1,287	預金受取利子
合 計	3,065,095	3,088,107	23,012	

支 出 の 部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
総 会 費	1,100,000	875,525	▲ 224,475	
広 告 費	44,440	44,440	0	年賀・暑中見舞い紙上掲載（山陰中央新報社）
通 信 費	100,000	171,695	71,695	会長挨拶状送付ほか
印 刷 費	120,000	61,976	▲ 58,024	会報第15号：300部・会報送り状ほか
事 務 費	60,000	55,793	▲ 4,207	HP接続料・封筒ほか
旅 費	30,000	0	▲ 30,000	松江市訪問交通費
雑 費	60,000	25,913	▲ 34,087	松江城を守る会会費・修学旅行激励
予 備 費	130,000	110,440	▲ 19,560	島根県女子駅伝チーム激励金・松江市庁舎新築記念植樹
事 業 費	30,000	30,000	0	ゴルフ同好会賛助金
会 議 費	30,000	9,400	▲ 20,600	対友誼団体等茶話会
払込負担金	25,000	18,758	▲ 6,242	会費、広告料郵便局払込手数料
次期繰越金	1,335,655	1,684,167	348,512	前年度迄繰越 1,264,095 今年度分繰越 420,072
合 計	3,065,095	3,088,107	23,012	

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

令和8年 1月 31日

監 事 田 中 裕 子 (印)

監 事 木 幡 晃 正 (印)

令和8年度事業計画

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月初旬	水		令和8年度年会費納付のお願い発送	
1月 9日	金	17:30	全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈	京都三条加茂川館
1月11日	日		全国都道府県対抗女子駅伝応援	西京極陸上競技場
1月31日	土		令和7年度会計 会計監査	事務局
2月12日	木		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
3月中旬			「双樹学院」支援金(R08年度第1回)贈呈	
4月初旬			20周年記念総会・懇親会(第18回)案内状発送	
4月下旬			第24回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
5月初旬			松江市庁舎完成記念植樹	松江市
5月31日	日	11:00	20周年記念総会・懇親会(第18回)	都シティ大阪天王寺
8月下旬			「双樹学院」支援金(R08年度第2回)贈呈	
9月中旬			八束学園「大阪商人体験:牡丹等の販売」の応援	天神橋筋商店街3丁目
10月1日			会報第17号発行	
11月 7日	土	11:00	第64回近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
11月中旬			第25回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
12月中旬			「双樹学院」支援金(08年度第3回)贈呈	
			随時役員会開催	

令和8年度 予算書(案)
(令和8年1月1日～令和8年12月31日)

収 入 の 部

単位：円

科 目	R07年度決算額	R08年度予算額	比較増減	備 考
前期繰越金	1,264,095	1,684,167	420,072	
年 会 費	339,000	330,000	▲ 9,000	110名 × 3,000円
総 会 費	1,081,725	1,000,000	▲ 81,725	総会・懇親会会費 100名 × 10,000円
寄 付 金	190,000	150,000	▲ 40,000	運営協力金
広 告 費	211,000	180,000	▲ 31,000	会報広告
雑 収 入	2,287	2,000	▲ 287	預金受取利子
合 計	3,088,107	3,346,167	258,060	

支 出 の 部

単位：円

科 目	R07年度決算額	R08年度予算額	比較増減	備 考
総 会 費	875,525	1,700,000	824,475	総会・懇親会 100名 × 17,000円(記念品、ゲスト出演料含む)
広 告 費	44,440	44,440	0	年賀・暑中見舞広告(山陰中央新報社)
通 信 費	171,695	70,000	▲ 101,695	総会、懇親会案内状・会報発送費ほか
印 刷 費	61,976	70,000	8,024	会報発行(300部)・配布資料ほか
事 務 費	55,793	60,000	4,207	HP接続料、封筒ほか
旅 費	0	30,000	30,000	松江市訪問旅費ほか
雑 費	25,913	30,000	4,087	松江市訪問手土産ほか
予 備 費	110,440	30,000	▲ 80,440	女子駅伝激励金・修学旅行激励
事 業 費	30,000	30,000	0	ゴルフ同好会助成金
会 議 費	9,400	30,000	20,600	対友誼団体等茶話会
払込料金負担	18,758	20,000	1,242	会費、広告料等郵便局払込手数料
次期繰越金	1,684,167	1,231,727	▲ 452,440	
合 計	3,088,107	3,346,167	258,060	

第18回20周年記念総会・懇親会報告 令和8年5月31日(日)

都シティ大阪天王寺にて開催

20周年記念総会にあたり会場を都シティ大阪天王寺に変えて第18回総会・懇親会を、上定昭仁松江市長をはじめご来賓22名、会員・会友95名のご出席をいただき開催しました。

【第一部】総会

尾原謙治常任幹事の司会で開会しました。先人を偲んで黙祷が捧げられ、その後に松本耕司会長が開会の挨拶をいたしました。



松本会長挨拶

冒頭、松本会長は上定松江市長、野々内松江市議会議長、各団体のご代表の方々などご来賓の皆様、各地友好ふるさと会の皆様、また多用の中をご出席いただいた会員の皆様にご参会の御礼を申しあげ、20周年を契機に会を次代へつないでいくことを表明しました。

また、近畿松江会の設立とこれまでの歩みについて話し、先人への感謝と共に現在につながっていると述べました。

本年は5月16日に松江市新庁舎のグランドオープンセレモニーが開催され、新市庁舎のシンボルとなるように記念植樹をしたことを報告しました。

そして、20周年記念総会を迎えることができたのも先人の皆さまのご尽力とご参加の皆

さまの協力のおかげであることに感謝を申し上げ挨拶を終えました。



尾原常任幹事 総会の司会

総会議事

続いて議事が行われ、会則により松本耕司会長が議長を務め、議事を進行しました。竹谷奨事務局長が令和7年度の事業報告と決算報告を行い、田中裕子監事が会計監査報告を行いました。



田中監事 会計監査報告

続いて木村恵吉顧問、武田貞雄相談役、木原貢相談役、木幡晃正監事、前田秀子団体推薦幹事の退任報告と松本耕司会長が顧問に松尾年治副会長が相談役に就任、竹谷奨副会長兼事務局長が会長兼事務局長に就任、尾原謙治常任幹事と宍道弘志常任幹事と酒井祥三幹事がそれぞれ副会長に就任、米原克則幹事が常任幹事に就任、新たに長谷川浩之さんの監事就任が承認

されました。

引き続き竹谷事務局長より令和 8 年度の事業計画及び予算案を提案し承認されました。



竹谷事務局長 事業報告及び決算報告

功労者表彰

20 周年を記念して松江市政に貢献された 6 名の方々に松江市より感謝状が贈呈されました。

武田貞雄相談役、木原貢相談役、木村恵吉顧問、松尾年浩副会長、木幡晃正監事、松本耕司会長へ感謝状と記念品が贈られました。

表彰に先立ち、上定昭仁市長からご挨拶を頂きました。



上定市長 挨拶

『感謝状を贈呈させていただきます皆様におかれましては近畿松江会の運営に長く携わっていただき、ふるさと松江を常に応援してくだ

さっていることに感謝申し上げます。また、近畿と松江市の橋渡し役を務めていただきましたことに心より敬意を表します。』

昨年は松江市にとって松江城国宝指定 10 周年、一市七町村の合併で松江市が誕生して 20 周年の大きな節目となる年でした。それに合わせるように昨年 9 月から今年 3 月まで NHK 連続テレビ小説「ばけばけ」が放映されました。また、大阪・関西万博にも松江市は温泉ツーリズム協議会を通じて出展し、内閣府のイベントにも出展いたしました。

今年の 5 月 16 日に松江市役所新庁舎がグランドオープンしました。そのグランドオープンに花を添えていただいたのは、近畿松江会・東京松江会・広島ふるさと松江会の皆様からの記念植樹の贈呈です。

新庁舎の 1 階には観光の目玉となる「ばけばけドラマ館」を作りました。皆様には是非お越しいただきお楽しみいただければと思っております。

松江市はこれからも小泉八雲とセツの出会いの町として観光振興を進めていきたいと思っております。小泉八雲が生まれた 6 月、亡くなった 9 月と小泉セツが生まれ亡くなった 2 月、この 6 月、9 月、2 月を「小泉八雲月間」と称してたくさんのイベントを行いますので是非この月間に合わせて松江にお帰りいただければと思います。

受賞者を代表して木原貢相談役から、我々は役員を勤め成し遂げた実感があり、次の役員の方へバトンを渡しますと挨拶がありました。

上定松江市長と表彰された方々の記念撮影をして表彰を終えました。



感謝状の授与

【第二部】落語

落語家、桂弥っこさんによる小泉八雲の怪談にちなんだ演目「雪女」を披露していただきました。

(詳細は 19 ページ)

【第三部】懇親会

松本幸子団体推薦幹事の司会で懇親会が始まりました。



松本団体推薦幹事 懇親会の司会

まずは、ご来賓を代表して能海広明松江市観光振興公社理事長から近畿松江会創立時から現在まで関わりがあり、故和田亮介顧問や会の皆様には本当によくしていただいた思い出があるとのことで、これからも近畿松江会が末永く続くことと近畿松江会の皆様のご健

康とご活躍を祈念しますとのご祝辞をいただきました。



能海広明松江市観光振興公社理事長
来賓ご祝辞

次に、松江からお越しいただいたご来賓の皆様、近畿における友好団体代表者の方々が紹介され、野々内誠松江市市議会議員長にご挨拶と乾杯のご発声をいただき、賑やかに宴が始まりました。



野々内松江市市議会議員長のご挨拶



20 周年総会記念品のカップ
(出雲本宮焼 高橋幸治窯)

新規会員の紹介

昨年度は各テーブルに司会者が廻って紹介をしていましたが、今年度はステージに登壇していただき一言ずつ挨拶をしていただきました。



新規会員の紹介と挨拶

(左から水野絵里さん・竹内恭子さん)



松江の文化情報誌「湖都松江」の販売

「福引き大抽選会」

懇親を深めるなか「福引き大抽選会」が始まり、ご来賓の方々により抽選が行われました。松江市関係各所から提供された牡丹の鉢植えをはじめ食品や清酒、宿泊券などが来場者全員に当たりました。



福引き大抽選会

会歌「ふるさと松江」を斉唱。

続いて、森岡淳松江市商工会議所事務局長の音頭により万歳を三唱しました。

最後に、竹谷奨新会長の「閉会のことば」で締めくくり、懇親会を終了しました。



会歌「ふるさと松江」斉唱



森岡松江市商工会議所事務局長の音頭で万歳



竹谷新会長 閉会の挨拶

懇親会を楽しむ参加者の皆さん



Aテーブル



Bテーブル



Cテーブル



Dテーブル



Eテーブル



Fテーブル



Gテーブル



Hテーブル



Iテーブル



Jテーブル



Kテーブル



Lテーブル

功 勞 者 感 謝 状 を 受 賞 し て



写真左より

木 村 恵 吉 氏（雑賀町）

武 田 貞 雄 氏（雑賀町）※

上定松江市長様

木 原 貢 氏（宍道町）

木 幡 晃 正 氏（宍道町）※

松 尾 年 浩 氏（馬潟町）※

松 本 耕 司 氏（上本庄町）

武 田 貞 雄 【元相談役】



このたび近畿松江会第18回・20周年記念大会において松江市より功労者として感謝状を拝受いたしました。このような榮譽に浴しましたことは、身に余る光栄であり、これまで歩んできた人生の中でも、一生忘れることのできない大きな喜びとなりました。

これもひとえに、近畿松江会の役員の皆様はじめ、会員の皆様からいただいた温かいご指導とご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

私は雑賀町に生まれ、県立松江商業高等学校を卒業し大阪の三井物産系列の会社に就職しました。約20年間勤務した後、独立し大阪の本町に繊維会社を設立しましたが約13年後に取引銀行の紹介によりM&Aのお話をいただき、会社を譲渡しました。

その後、知人の紹介で地域に密着した活動を行っている「自家用自動車協会」の運営に携わることとなり、専務理事を務め、現在は非常勤の相談役として関わっています。

振り返ってみますと、松江を離れて長い年月が経ちましたがこの間、故郷・松江への思いが薄れることはありませんでした。

そんな私にとって、近畿松江会との出会いは、故郷とのつながりをあらためて感じさせてくれる大切なご縁となりました。

近畿松江会とのご縁

私が近畿松江会に入会したのは、当時役員をお務めの井上隆吉氏からお声掛けいただいたことがきっかけでした。平成24年（2012年）に入会、当時の会長は荏田氏で役員は17名で構成され

ていました。私も役員の端に加えていただいた役員会で特に印象に残っているのが月に一度、第3水曜日の夜に開催されていた「三水会」です。大阪・玉造にあった活け旬「大枡」で杯を交わし、様々な話をしました。会の運営についての意見や提案はもちろん、故郷・松江の思い出に花を咲かせたり、互いの近況を語り合ったりと、和気あいあいの雰囲気の中に近畿松江会を良い会にしていこうという皆さんの熱い思いがありました。このような時間は私自身にとって楽しみの一つであり、大きな財産となっています。

この度の受賞は、あらためて入会当時から今日を振り返る機会となりました。近畿松江会で出会えた皆さんとのご縁は、故郷・松江と私を繋いでくれる大切なものの一つです。

役員を退任いたしますが微力ながら近畿松江会の発展のため、故郷・松江の発展のため、できる限り協力してまいりたいと思っています。役員の皆様、そして会員の皆様にあらためて心より感謝申し上げます。

木 幡 晃 正〔元相談役〕



この度の表彰は、私にとって、近畿松江会創立20周年記念の記念すべき時期と82歳に達した年齢を考えますと、世代交代、会員拡大対策等色々の思い出が湧き上がり、感無量の気持になりました。

ふるさとを愛し、ふるさとを支援する松江人の一人として、今、この場に至った事に対し、皆様方のご支援、ご協力のお陰であり、厚く御礼申し上げます。

この20年間の最大の出来事は、★松江城天守閣の国宝指定であります。ふるさとに国宝指定の天守閣がある事が、如何に素晴らしい事か！誇り高き良き出雲の国に生まれた事に、感謝しましょう！ご先祖様に父母に感謝しましょう！松江城を守る会の会員になりましょう！



もう一つの出来事は、歴史遺産ではありませんが、★近畿松江会創立の父とも言われる和田亮介氏の御逝去であります。コロナ禍の中、私と妻と車の運転を交代しながら松江市の葬儀会場へ参りました！

コロナ禍の葬儀会場は、異様な雰囲気があり、とにかく、祭壇のある葬儀場に上がり、葬儀社の案内人の了解を得て、人がまばらな祭壇のそばの柩の中の和田さんの御顔をじっくりと拝顔して、生前のご懇意とご活躍に感謝し、極楽浄土界での御冥福をお祈り申し上げます。（和田さんの顔の表情は、何か厳しく、残念ありで、安らかで無かった

のが、今でも気になっています…) それでも、丹波篠山市の自宅から松江市の葬儀会場平安祭典迄来て、和田さんの御顔を拝顔出来て、ああ～、来て、会えて良かったと思いました！私は、奇跡は起こると思う事が何度かありましたがコロナ禍のためか奇跡が起こったのです！和田さんとは父が大変懇意でしたから、私が会えて、あの世の父は、喜んだ事でしょう！

和田さんの位牌がある祭壇は、妹さんが嫁がれた一畑薬師本堂そばの大理石造りの永代供養廟の中にあります。中々立派で美しく清潔なので、子供達と相談して、私達夫婦等の永代供養祭壇として、大理石造りの建て増し廟に良き場所を選び確保しました。



【松江文化情報「湖都松江」(2026.3 発行)51 号に一畑薬師飯塚管長の寄稿文「命 (いのち)」は、中々名文です。

是非、御覧下さい。】

※松江観光大使、島根県遣島使の活動は、話せて動ける間は続けます。

最後に、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。



文中自筆画：【国宝松江城】・【和田亮介氏生家八雲本陣】

左 写 真：【自宅カーポートの松江市 PR ポスター】

接道は通学路でお城が珍しいのでしょうか。子供たちが松江城の写真の前で立ちどまっているのをよく見かけます。

松 尾 年 浩〔相談役〕



近畿松江会第 18 回・20 周年記念大会に際しまして、上定松江市長より功労者表彰という身に余る栄誉を頂きこのうえない喜びを感じております。

近畿松江会を通じてご指導、ご支援、ご協力を頂きました諸先輩をはじめ皆様方にこころより御礼を申し上げます。

諸先輩の発足時からのご労苦・運営の緻密さは、今日まで継続され、今後も近畿松江会がより大きく発展していくものと確信しております。

私の松江市との関わりは、68 年前・昭和 33 年春に举行された*1 ホーランエンヤに權伝馬船「いの一まかた」の踊り子「劍權」3 人のひとりとして踊りを奉納したのが始まりです。



写真左 S33 馬潟權伝馬船

写真右 同上・師匠と踊子

まだ 14 歳（中 3）、人前に出るのが苦手、川の兩岸は人で溢れんばかり、ただひたすらに、船の先頭部分（オモテ）で踊りを舞うことのみでした。この貴重な経験は、「やれば出来るんだ」の気持ちを持たせ、その後の重要な判断時に前向き対処をもたらしてくれました。

高校は松江商業、卒業後は繊維会社（M29 年創業）において経理・コンピューター・物流部門を経て、平成元年より工場の跡地再開発事業に従事し、商業デベロッパー事業を興し 63 歳で退職。その後は、元会社の O B 会や母校 O B 会のお世話をさせていただきながら、近畿松江会に入会、前回のホーランエンヤ開催時・野津旅館で開催された総会からは役員として任にあたることになりました。

近畿松江会の活動のなかでは、各種会合のほか行事・活動への参加、松江市への恒例訪問や今年の市庁舎改築記念セレモニー・記念植樹式の参列等々を経験させていただきました。年次総会やそうした機会での松江市の幹部の方々との懇親は、懐かしさもありとても新鮮で松江市の魅力を再認識させていただきました。感謝あるのみです。

スポーツは大好き人間の私ですが、反面文学面は疎く、最近は松江関連の書物では「八雲の妻」小泉セツの生涯とその関連本、国宝松江城秘話「のぼせもん」、松江藩松平家「藩主と家老」を読み、松江文化協会発行の「湖都松江」を毎号にわたって読ませていただいて、松江への郷愁をさらに募らせています。

松江大好き人間を自負する私として今後も、国際文化観光都市・前進する松江市の P R に努めて参りたいと思っております。



写真：令和 6 年

松江市へ表敬訪問時

※ 正式名称、松江城山稻荷神社式年神幸祭（通称ホーランエンヤ）：日本三大船神事のひとつ

第18回20周年記念総会・懇親会 参加者名簿 全117名

一 来 賓 一 22名

松江市 市長	上 定 昭 仁
松江市 理事	松 浦 徹
松江市 観光部 部長	井 川 浩 介
松江市政策部 秘書課 課長	小 川 知
松江市議会 議長	野 々 内 誠
松江市市議会 事務局長	竹 田 優 子
一般社団法人松江観光協会 COO	藤 岡 成 輝
公益財団法人松江市観光振興公社 代表理事理事長	能 海 広 明
松江商工会議所 常務理事	金 井 寿 彦
島根県大阪事務所 副所長	光 明 浩 徳
島根物産協会 専務理事	本 廣 保 徳
島根県育英会大阪学生会館 寮長	津 森 敬 次
近畿双松会 会長	徳 田 完 二
京都島根県人会 副会長	金 森 佳 憲
京都島根県人会 幹事	村 田 貢
関西隠岐人会 会長	木 下 孝
関西隠岐人会 顧問	高 橋 真 知 江
隠岐の島町関西ふるさと会 会長	本 屋 敷 千 鶴 子
関西知夫会 会長	下 濱 敏 弘
関西岩見沢会 会長	北 浦 和 憲
山陰合同銀行 大阪支店副支店長	濱 崎 剛
山陰中央新報 大阪支社 支社長	小 松 慶 一 郎

一 会 員 ・ 会 友 一 95名

安 達 信 政 (鹿島町)	家 島 明 彦 (上乃木)	伊 賀 井 和 子 (大阪市)
池田 喜美代 (石橋町)	石 倉 誉 文 (会 友)	石 倉 明 美 (会 友)
石 倉 喜 充 (秋鹿町)	石 原 綏 子 (西津田町)	井 谷 祥 達 (八雲町)
井 谷 み ち る (会 友)	市 原 芳 子 (会 友)	内 部 茂 (東朝日町)
大 野 徹 (八幡町)	岡 本 由 美 (横浜町)	小 川 ち づ る (大阪市)
押 田 良 樹 (大庭町)	小 田 一 美 (堂形町)	尾 原 謙 治 (雑賀町)
景 山 克 雄 (法吉町)	柏 木 顕 (米子市)	勝 田 純 一 (石橋町)
神 谷 紀 男 (上乃木)	神 田 俊 之 (外中原町)	神 田 昌 代 (大阪市)
木 原 貢 (穴道町)	木 村 恵 吉 (雑賀町)	木 村 直 浩 (同 伴)
木村 八重子 (東本町)	櫛 間 秋 義 (会 友)	小 松 砂 知 子 (鹿島町)
木 幡 晃 正 (穴道町)	木幡 美代子 (同 伴)	酒 井 祥 三 (東津田町)
佐々木 悦子 (中原町)	志 賀 潔 (西川津町)	新 宮 祐 二 (鹿島町)
穴 道 弘 志 (中原町)	鈴 木 智 (会 友)	曾 田 良 子 (古志原)
竹内 喜次男 (竪 町)	竹 内 恭 子 (比津が丘)	竹 谷 奨 (八束町)
武 田 貞 雄 (雑賀町)	武 田 良 子 (同 伴)	多 田 美 智 子 (大阪市)
田 中 一 男 (和田見町)	田 中 英 明 (上乃木)	田 中 繁 法 (鹿児島市)
田 中 裕 子 (石橋町)	坪 倉 卓 二 (会 友)	鶴 羽 孝 子 (西持田町)
土 田 和 男 (片原町)	富 岡 幸 子 (美保関町)	友 田 公 一 (箕面市)
永 瀬 丈 嗣 (玉湯町)	永 原 達 夫 (会 友)	成 山 康 子 (北堀町)
西 村 充 子 (会 友)	葦 山 泰 信 (八雲町)	野 津 一 雄 (内中原)
野津 ゆう子 (黒田町)	長 谷 川 紀 美 子 (玉湯町)	久 幸 子 (鹿児島)
樋 野 澄 子 (大阪市)	平 山 恭 子 (古志原)	藤 田 トク子 (大正町)
藤 田 宏 (八雲町)	別 所 裕 志 (玉湯町)	松 尾 年 浩 (馬潟町)
松原 由紀子 (西持田町)	松 本 明 夫 (上本庄町)	松 本 耕 司 (上本庄町)
松 本 一 晃 (幸 町)	松 本 幸 子 (南田町)	松 本 美 奈 子 (会 友)
松 本 幸 子 (会 友)	松 本 英 子 (会 友)	松 本 知 子 (会 友)
松 本 明 子 (会 友)	三 澤 正 (奥出雲町)	水 野 絵 里 (大阪市)
水野 恵美子 (会 友)	溝 口 裕 子 (上乃木)	宮 城 孝 弘 (会 友)
村 上 勝 美 (片原町)	茂 居 理 智 子 (竪 町)	森 藤 哲 章 (広瀬町)
藪 朋 昭 (会 友)	山 口 紀 子 (黒田町)	山 下 俱 子 (上乃木)
米 田 稔 宏 (白潟本町)	米 原 克 則 (南田町)	脇 田 健 晶 (大阪市)
脇 田 茂 子 (大阪市)	和 田 寛 (東長江町)	

新規加入者 (令和7年6月～令和8年5月) 2名 初参加者 19名

落語家 桂弥っこ 高座

【演目】小泉八雲の怪談「雪女」

景山克雄副事務局長から桂弥っこさんが紹介されました。



景山副事務局長 桂弥っこさんの紹介

島根県雲南市大東町出身で、島根県立松江南高等学校から大学へ進学し、友人に勧められ、生前の桂枝雀さんのDVDを見て、東京・新宿や上野の寄席へ通うようになりました。おぼろげながら落語家になることも考えておられましたが、卒業後は一般企業に就職されました。働いていたものの落語への思いを断えず、毎週末天満天神繁昌亭や動楽亭に通い、2012 年秋に桂吉弥に弟子入りしよう決心。入社した会社は1年3ヶ月で退社し10 数回弟子入り志願した後、2014 年2月に入門。同年大阪府交野市の寺で初舞台を踏まれました。

(Wikipedia より引用)



落語を披露する桂弥っこさん

演目の題材となった小泉八雲の怪談「雪女」を紹介します。



お雪が雪女になる場面

小泉八雲の「雪女」は、日本に伝わる民話をもとに再話された怪談で、1904 年4月に刊行された『怪談』に収められた代表作の一つです。物語は、吹雪の夜に若い木こりの巳之吉と老人の茂作が渡し守の小屋で一夜を明かす場面から始まります。夜更けに現れた雪のように白く美しい女は、茂作の命を奪いますが、巳之吉だけは助け、今夜の出来事を誰にも話してはならないと命じて去っていきます。

それから数年後、巳之吉はお雪という美しい女性と出会い、夫婦となって穏やかな家庭を築きます。お雪はよく働く優しい妻で、二人の間には十人の子どもが生まれます。しかし、年を重ねてもお雪の若々しさは変わらず、どこか人ならぬ不思議さを漂わせています。ある晩、巳之吉が若いころに出会った雪女の話をつつかり口にすると、お雪こそがあの夜の雪女だったことが明らかになります。雪女は約束を破った巳之吉を本来なら殺すはずでしたが、子どもたちを思って命までは奪わず、そのまま姿を消します。こうして物語は、恐怖だけでなく深い哀しみを残して結ばれます。

(青空文庫より引用)

寄稿集 “松江だんだん”

会報のニックネーム「松江だんだん」にちなみ、「松江に“だんだん”する」ページを作りました。

わが町・わが村を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、今年も下記の方々にいわば町内代表としてご寄稿をいただきます。

皆で語り継ぐ企画ですから、町内リレー大会のように、次号はあなたにバトンがいくかもしれません。その節はよろしくタノンマスケンネ。

◆『仲間とふるさと「松江」旅』



中庭 陽子
貝塚市
島根県立東高校卒

「旅することは生きること」アンデルセンの名言です。

非日常体験することそのものが、人生を豊かにして人を成長させるという意味の言葉です。

私は、島根県松江市で生まれ、主人の転勤で、奈良、横浜、舞鶴、福岡、大阪と全国を転々としてきました。大阪に拠点を置いて20年になります。私の住む貝塚市は大阪の南、泉州地域です。

ここは岸和田のだんじりで有名なように祭りの盛んな地域です。

住んだこの土地はすっかり私の第2の故郷となりました。

今回、所属するNPOの皆さんと一緒に松

江へ旅行することになり、松江出身の私がプランを考えることに。

帰省することはあっても、観光客として訪れる機会はなく、私の好きな島根、松江の景色を楽しんでもらうプランにと旅行会社の方と考えました。

12名のバスの旅、70代から80代の元氣な皆さんとの一泊二日の旅。

大阪を出発し途中、蒜山高原で休憩。米子道を進むと右手に大山が見えてきます。

ここまでくると一日目の目的地、足立美術館まではあと少しです。

足立美術館は四季を通じて美しい庭園を館内に持っています。この日は晴天。緑の美しい庭園はまた格別で、館内の喫茶から観る景色もまた。都会の（泉州ですが）雑踏が洗われるようなそんな時間を皆さんと過ごしました。そして、宿泊は夕景湖畔すいてんかく。目の前には宍道湖が広がってます。



夕食後、お湯かけ地蔵まで歩くことになりました。陽の落ちた道中には沿道の行灯の演出が施され、ばけ

ばけの余韻を残し、薄暗い中突如現われるお湯かけ地蔵にビクッとしながら。実は私もお湯かけ地蔵は初めてで。薄暗い中現れたお地



蔵様（ひとりではちょっと怖いかも）に願いを込めてお湯をかける。皆さんの願いがかなり多かったのでしょう。お地蔵様からは大量の湯気が出ていたと思います。

カラオケがしたいという要望に応え、旅館の前のオシャレなBARへ。日曜日の夜。大阪からの12人の貸し切り。夜の部の始まり。大阪、泉州をこよなく愛する皆さん。岸和田音頭（これはカラオケになかったが）、六甲おろし、雨の御堂筋等々。松江の夜は大阪と化したのです。

朝の宍道湖。宍道湖にはシジミ漁の船がこれが見たかったのです。泊まらないと見れない景色。朝の松江は静かで優しい。

松江城、堀川めぐり、ふじな亭での宍道湖を眺めながらの優雅な食事の時間、鯛めし御膳の美味しいこと。非日常を演出するには最高の景観で心の距離も縮まりさらに親しみも増すような気がしました。時間ごとに変化し見る人を魅了する宍道湖。堂々とそびえ立つ国宝松江城。

宍道湖を眺めながらいただく鯛めし御膳。参加された皆さんの笑顔が今回の旅行を物語っていました。

景色が、地元の人々が、非日常を味わうのに最高の場所だと改めて思いました。

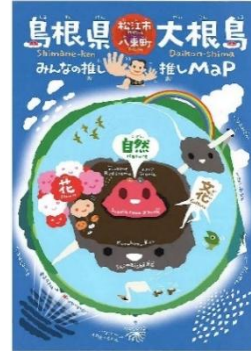
松江を離れて30年。生まれ育った松江、県外にいるからこそできることがあるのではと思った今回の旅。松江出身を活かして故郷を応援していけたらと思いました。

◆『大根島の魅力発信プロジェクト』の紹介

大阪市 竹谷 奨

八束公民館報 八束のひろば第33号より

挑戦その① 絵地図作成



大根島・江島にしかないお勧めスポットやグルメを掲載したみんなの推し押しマップの作成

島には魅力的かつオンリーワンのものが

とても多くあることが改めて気づきます

挑戦その② 溶岩洞窟のブランド化



広島大学の放射線プロジェクトチームによる幽鬼洞内の放射線コロニー調査

中間報告 「薬を作る微生物」でることが分かったとの事 今後、広島大学においてDNA 配列解析や実験が行われ、詳細が明らかになる予定

挑戦その③ 島のお勧めスポットを楽しくめぐるコースづくり



電動モビリティ（電動バイク等）を活用した島巡り3コース程度を完成計画
島大生3名がモニター参加

令和 8 年度 役員名簿 (25 名) (令和 8 年度 5 月 3 1 日総会承認)

会 長	事務局長兼務	竹谷 奨	(八束町・八束小学校)
副 会 長		尾原 謙治	(雑賀町・雑賀小学校)
副 会 長		酒井 祥三	(東津田町・津田小学校)
副 会 長		宍道 弘志	(中原町・内中原小学校)
副事務局長	(ゴルフ担当)	内部 茂	(東朝日町・中央小学校)
副事務局長	(事務担当)	景山 克雄	(法吉町・法吉小学校)
常任幹事	(会務・諸行事)	渡辺 悟	(北田町・付属小学校)
常任幹事	(H P 担当)	鶴羽 孝子	(西持田町・持田小学校)
常任幹事	(広報担当)	茂居理智子	(堅 町・雑賀小学校)
常任幹事	(会務・諸行事)	平山 恭子	(古志原・津田小学校)
常任幹事	(会務・諸行事)	新宮 祐二	(鹿島町・佐太小学校)
常任幹事	(会務・諸行事)	米原 克則	(南田町・母衣小学校)
団体推薦幹事	(近畿双松会)	松本 幸子	(南田町・母衣小学校)
団体推薦幹事	(近畿双松会)	木村 滋樹	(苧 町・内中原小学校)
団体推薦幹事	(関西矢の原会)	永瀬 丈嗣	(玉湯町・玉湯小学校)
団体推薦幹事	(関西矢の原会)	家島 明彦	(上乃木・古志原小学校)
団体推薦幹事	(関西矢の原会)	萑山 泰信	(八雲町・八雲中学校)
団体推薦幹事	(近畿松江工窓会)	三澤 正	(奥出雲町・馬木小学校)
団体推薦幹事	(近畿松江工窓会)	有田 鋼司	(栄 町・雑賀小学校)
団体推薦幹事	(振商会近畿支部)	米田 稔宏	(白潟本町・白潟小学校)
団体推薦幹事	(皆美が丘会関西支部)	野津ゆう子	(黒田町・法吉小学校)
監 事		田中 裕子	(石橋町・北堀小学校)
監 事		長谷川浩之	(天神町・中央小学校)
顧 問		松本 耕司	(上本庄町・本庄小学校)
相 談 役		松尾 年浩	(馬潟町・竹矢小学校)

会 員 名 簿 (中・小学校区別)

令和6年(2024年)9月現在

- ①”ふるさと”に密着した「会員名簿」とするため、中・小学校区(通学区域)と、皆様から申告いただいている「出身町」をあてはめて作成しました。
 ②不具合、間違いがあります場合は、事務局までご一報いただければ幸いです。
 ⇒(注)島根大学付属小(中)学校は、この表には記載していません。

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【一中校区】	
生馬小	(上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部)
内中原	(殿町一部、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台)
城北小	(北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、湊北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部)
法吉小	(比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部)
<石橋町>	田村 稔久(豊中市) 田中 裕子(吹田市)
	山寄 麻里子(大東市)
<内中原町>	池田 喜美代(門真市) 小泉 勝是(長岡京市)
	大堀 裕子(東大阪市) 野津 一雄(尼崎市) 桑原 勇(神戸市)
	野口 博也(神戸市) 松本 晴治(大阪市)
<苧 町>	木村 滋樹(神戸市)
<砂子町>	松村 聡(高槻市)
<奥谷町>	浅沼 吉正(宝塚市) 柏木 薫(吹田市)
<片原町>	村上 勝美(三島郡島本町) 土田 和男(大阪市)
<大輪町>	周藤 達夫(神戸市)
<北堀町>	山口 茂(京都市) 和田 邦孝(神戸市) 石賀 誠一郎(橿原市)
<黒田町>	山口 紀子(神戸市) 野津 ゆう子(大阪市)
<堂形町>	小田 一美(奈良市)
<中原町>	佐々木 悦子(吹田市) 宍道 弘志(吹田市)
<外中原町>	森脇 泰雄(大阪市) 加藤 巡一(神戸市)
<東生馬町>	山根 武広(吹田市)
<浜佐田町>	安達 宏昭(箕面市)
<比津町>	
<法吉町>	景山 克雄(八尾市) 佐藤 陽太郎(京都市)
【二中校区】	
朝酌小	(西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町)
川津小	(菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町)
母衣小	(末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園)
持田小	(福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部)
<上東川津町>	井上 伸久(高槻市)
<西川津町>	今井 憲子(大阪市) 森口 次郎(京都市)
<北田町>	渡辺 悟(大阪市) 大浦 綾子(西宮市) 中庭 陽子(貝塚市)
<末次本町>	三成 宏二(木津川市)
<西持田町>	鶴羽 孝子(尼崎市)
<川原町>	鳥居 恭江(明石市)
<東本町>	木村 八重子(八尾市)
<母衣町>	大野 賢造(川西市)
<南田町>	松本 幸子(大阪市) 野津 博道(豊中市)
<米子町>	永瀬 光一郎(芦屋市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【三中校区】 雑賀小 (栄町、新町、松尾町、雑賀町、堅町、本郷町、西津田一部、上乃木一部) 中央小 (天神町、白潟本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部) ○平成7年4月1日 白潟小学校 + 朝日小学校 ⇒ 中央小学校	
<朝日町> <伊勢宮町> <雑賀町> <白潟本町> <新町> <栄町> <新雑賀町> <大正町> <堅町> <天神町> <寺町> <幸町> <東朝日町> <本郷町> <横浜町> <和多見町>	岡 茂(大阪府豊能郡) 竹谷 曜子(大阪市) 荻田 運三郎(明石市) 木村 恵吉(吹田市) 篠崎 一浩(神戸市) 武田 貞雄(河内長野市) 尾原 謙治(奈良市) 片山 伸雄(神戸市) 米田 稔宏(高槻市) 中村 博行(名張市) 有田 鋼司(大阪市) 茂居理智子(大阪市) 竹内喜次男(高槻市) 長谷川 浩之(大阪市) 鏑木 孝子(京都市) 松本 一晃(亀岡市) 内部 茂(茨木市) 菊池 尠雄(神戸市) 村尾 俊治(枚方市) 溝口 裕子(茨木市) 岡本 由美(伊丹市) 田中 一男(京田辺市)
【四中校区】 古志原小 (古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町) 津田小 (東津田町、古志原一部、西津田一部)	
【湖南中校区】 忌部小 (西忌部町、東忌部町、玉湯町一部) 乃木小 (上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島) ○昭和50年4月1日 新設	
<上乃木> <古志原> <西津田> <浜乃木> <乃木福富町> <東津田町>	神谷 紀男(堺市) 田中 英明(交野市) 坂本 隆男(大津市) 家島 明彦(大阪府三島郡島本町) 曾田 良子(宇治市) 平山 恭子(大阪市) 米原 克則(宝塚市) 小瀧 翔平(伊丹市) 太田 明宏(福知山市) 酒井 祥三(尼崎市) 南目 益男(大阪市淀川区)
【湖東中校区】 大庭小 (大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部) 竹矢小 (矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町) ○平成5年4月1日 新設	
<大草町> <大庭町> <馬潟町> <山代町> <八幡町>	押田 良樹(吹田市) 水野 絵里(高石市) 松尾 年浩(高槻市) 大野 徹(奈良市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【湖北中校区】	○平成6年4月1日 古江中学校 + 秋鹿中学校 + 大野中学校 ⇒ 湖北中学校 秋鹿小 (秋鹿町、岡本町、大垣町) ○平成22年4月1日 中島小学校 + 秋鹿小学校 ⇒ 秋鹿小学校 大野小 (大野町、上大野町、魚瀬町) 長江小 (東長江町、西長江町) 古江小 (古曾志町、西谷町、古志町、莊成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部) ○平成23年4月1日 長江小学校 + 古江小学校 ⇒ 古江小学校
<秋鹿町> <岡本町> <東長江町> <西浜佐陀町>	石倉 喜充(和歌山市) 堀川 光子(大阪市) 和田 寛(河内長野市) 竹内 恭子(大阪市)
【鹿島中校区】	鹿島東小 鹿島町(御津、上講武、南講武、北講武、名分一部) 惠曇小 鹿島町(惠曇、手結、片句、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部) 佐太小 鹿島町(佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部)
<鹿島町>	坂井 茂子(亀岡市) 山本 雅昭(大阪市) 小松 砂知子(東大阪市) 新宮 祐二(生駒市) 高橋 一雄(箕面市)
【島根中校区】	○平成16年4月1日 島根中学校 + 野波中学校 ⇒ 島根中学校 島根小 (島根町) ○平成17年4月1日 大芦小学校+加賀小学校+野波小学校 ⇒ 島根小学校
<島根町>	客野 伸(神戸市) 藤城 坦(神戸市)
【宍道中校区】	大谷小 宍道町(上来待和名佐地区) 来待小 宍道町(東来待、西来待、上来待) 宍道小 宍道町(宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和)
<宍道町>	池尻 和子(東大阪市) 伊藤 雅義(京都市) 小田 兼久(豊中市) 川島 小夜子(川西市) 木原 貢(豊中市) 木幡 晃正(丹波篠山市) 田中 晨子(枚方市) 小寺 紀子(伊丹市) 吉田 昭(明石市) 小豆沢 良(明石市) 阪本浩吉(枚方市) 永江 睦男(枚方市) 仲西 信子(尼崎市)
【玉湯中校区】	大谷小 玉湯町(大谷一部) 玉湯小 玉湯町(布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部)
<玉湯町>	長谷川 紀美子(奈良県北葛城郡) 中曾 暁尚(大阪府豊能郡) 別所 裕志(高石市) 永瀬 丈嗣(茨木市) 清水 博子(堺市)
【本庄中校区】	本庄小 (手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部)
<上宇部尾町> <上本庄町> <新庄町> <手角町> <本庄町> <枕木町>	松本 育郎(堺市) 松本 耕司(枚方市) 寺前 澄子(高槻市) 木村 修芳(枚方市) 面白 紘(橿原市) 山内 和美(吹田市) 三代 雅樹(加古川市) 田部 拓生(奈良市) 木島 光子(大津市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【美保関中校区】	○平成7年4月1日 美保関北中学校 + 美保関南中学校 ⇒ 美保関中学校
美保関小 (美保関町)	○平成13年4月1日 美保関小学校+森山小学校+福浦小学校⇒美保関東小学校 ○平成13年4月1日 七類小学校+片江小学校⇒美保関北小学校 ○平成18年4月1日 美保関東小学校+千酌小学校+美保関北小学校⇒美保関小学校
<美保関町>	
【八雲中校区】	
八雲小 (八雲町)	
<八雲町>	石倉 文行(豊中市) 藤田 宏(堺市) 菰山 泰信(川西市)
【八束学園校区】	○平成23年1月1日 八束小学校⇒小中一貫教育校として発足
八束学園 (八束町)	
<八束町>	岩田 太(神戸市) 門脇 基(茨木市) 門脇 幸夫(大阪市) 川原 ひろ子(豊中市) 河野 宗子(草津市) 高瀬 保子(大阪府豊能郡) 高橋 小梅(東大阪市) 竹谷 奨(大阪市) 坪山 孝美(宝塚市) 福屋 篤子(豊中市) 松本 悟(大東市) 門脇 充人(大阪市)
【東出雲中校区】	○平成23年8月1日 八束郡から松江市に合併
出雲郷小 (出雲郷地区)	
揖屋小 (揖屋地区)	
意東小 (意東地区)	
<東出雲町>	萩野 貫悟(吹田市) 前田 秀子(高槻市)

■【松江市外出身の会員】	
<安来市>	石田 裕子(大阪市) 浦 晴子(吹田市)
<出雲市>	竹内 一郎(大阪市)
<奥出雲町>	三澤 正(四條畷市)
<雲南市>	三島 学[桂弥っこ](尼崎市)
<広瀬町>	森藤 哲章(橿原市)
<隠岐郡海士町>	田黒 公司(川西市)
<隠岐の島町>	村田 貢(京都市) 本屋敷 千鶴子(西宮市) 小林 香澄(高槻市)
<飯南市>	佐和田 丸(枚方市)
<大阪市>	榎本 智恵(福岡市)
<箕面市>	友田 公一(箕面市)
<山陰中央新報社>	小松 慶一郎(大阪支社長)

■【名誉会員】	
<大阪市>	三林 京子(住之江区)

★ 近畿松江会へ運営協力金をご寄付いただいた方々（敬称略）

有田 鋼司・池尻 和子・石倉 文行・伊藤 雅義・今井 憲子・岩田 太・内部 茂
浦 晴子・岡本 由美・押田 良樹・景山 克雄・門脇 幸夫・神谷 紀男・木原 貢
木村 恵吉・木村八重子・小瀧 翔平・小松砂知子・木幡 晃正・酒井 祥三・新宮 祐二
宍道 弘志・曾田 良子・高瀬 保子・高橋 一雄・高橋 小梅・竹内喜次男・武田 貞雄
竹谷 奨・田中 一男・田中 英明・田中 裕子・田部 拓生・田村 稔久・友田 公一
永瀬 丈嗣・野津 一雄・平山 恭子・福屋 篤子・藤田 宏・別所 裕志・前田 秀子
松尾 年浩・松村 聡・松本 育郎・松本 耕司・松本 幸子・三島 学・茂居理智子
本屋敷千鶴子・森口 次郎・森藤 哲章・山内 和美・吉田 昭・米田 稔宏・渡辺 悟
以上56名

★ 近畿松江会総会・懇親会にご寄付いただいた方々（敬称略）

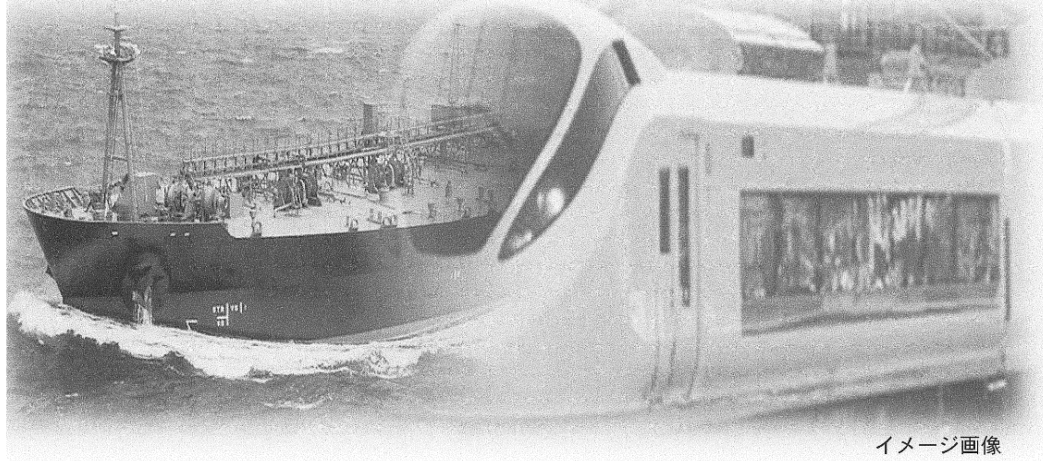
三林 京子・内部 茂・景山 克雄・門脇 幸夫・神谷 紀男・木原 貢・木村八重子
木幡 晃正・酒井 祥三・志賀 潔・新宮 祐二・曾田 良子・武田 貞雄・竹谷 奨
田中 英明・田中 裕子・友田 公一・野津 一雄・平山 恭子・松尾 年浩・松本 幸子
森藤 哲章・本屋敷千津子・米田 稔宏 以上24名

★ 双樹学院への支援金をいただいた方々（敬称略）

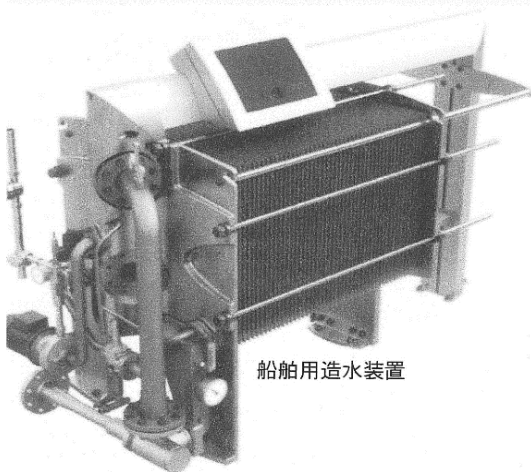
石倉 善充・大堀 裕子・景山 克雄・門脇 幸夫・神谷 紀男・木原 貢・木村 恵吉
桑原 勇・小泉 勝是・木幡 晃正・酒井 祥三・曾田 良子・高橋 一雄・竹内喜次男
武田 貞雄・竹谷 奨・田中 裕子・田部 拓生・鶴羽 孝子・友田 公一・永江 睦男
永瀬光一郎・仲西 信子・中庭 陽子・中村 博行・野津 博道・平山 恭子・藤城 坦
別所 裕志・前田 秀子・松尾 年浩・松本 育郎・松本 耕司・松本 幸子・三澤 正
溝口 裕子・本屋敷千鶴子・森藤 哲章・山内 和美・山寄麻里子・渡辺 悟・和田 實
以上42名

ご寄付・ご支援あらためて御礼申し上げます だんだん

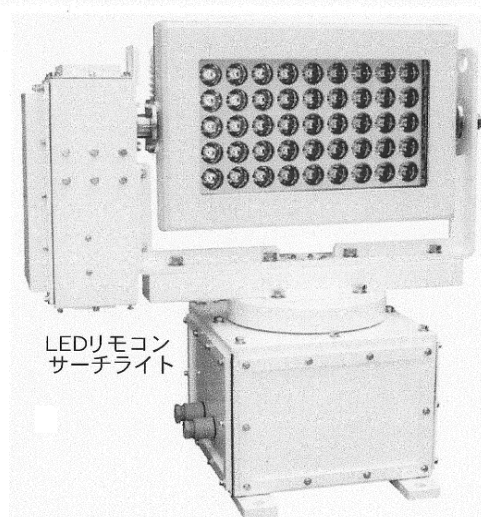
《鉄道車両、船舶、産業機器、ソリューション》



イメージ画像



船舶用造水装置



LEDリモコン
サーチライト



鉄道車両運転台

株式会社
トヨーコーポレーション
TOYO & ENGINEERING CORP.

取締役社長 山本 雅昭 (島根県立松江高校 七期卒)

本社/〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-21-35 Tel.06-6443-2061 Fax.06-6443-9736
東京支店・豊中工場

Gestaltung : K.Raum



安心・安全・殺菌・汚れ・悪臭を分解
酸化チタン光触媒合成砂トキサンドクリーン

シルテック

代表 茂 居 理智子

〒534-0015

大阪市都島区善源寺町2-3-23の305号

TEL・FAX 06-6923-5511

携帯電話 090-8889-6341



大阪支店
支店長

いしご まさひろ
石河 万博



株式会社山陰合同銀行

大阪府大阪市北区大深町5-54 グラングリーン大阪ゲートタワー10階 〒530-0011

Tel: 06-6252-5400 Mobile: 080-2912-2452

<https://www.gogin.co.jp>



松江の観光情報は

水の都松江 を検索

(一社) 松江観光協会 TEL:0852-27-5843

Kintetsu

近鉄アート館

館長

尾原 謙治

Obara kenji

〒545-8545 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
あべのハルカス近鉄本店 ウイング館 8階

☎ 06-6622-8802(直通)

☎ 090-4907-5293

✉ kenji4971obara@gmail.com

🌐 <http://www.kintetsuartkan.jp>

[運営受託会社]
(株) バイタルアートボックス



松江商工会議所

会 頭 田部 長右衛門

副会頭 鶴 順

副会頭 太 敦 久

副会頭 木 和 弘

副会頭 三 隆 史

TEL 〇八五二―二三―一六二四
松江市母衣町五五―四

西松地所株式会社
関西支店

営業課
課長

景山 克雄

一級建築士

〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目14-16

西天満パークビル3号館 9階

TEL: 06-6131-2023

FAX: 06-6131-2032

携帯: 080-1456-9273

E-mail: kageyama-999@n-jisho.co.jp



タッセルホテル 三条白川

〒605-0022 京都市東山区三条通白川橋西入大井手町103-3

TEL: 075-771-0775 FAX: 075-771-0785

<https://tasselhotel.jp/kyoto-sanjo/>

タッセルイン京都 河原町二条

〒604-0913 京都市中京区新堀木町通二条上ル角倉町226

TEL: 075-256-2500 FAX: 075-256-2501

<https://tasselhotel.jp/inn-kyoto-nijo/>

近畿松江会

会長 事務局長兼務 竹谷 奨

〒540-0004

大阪市中央区玉造1-15-12-601

TEL: 090-3054-9159

mail: osktake@ff.iiij4u.or.jp

近畿松江会

顧問 松本 耕司

〒573-0049

枚方市山之北北町20-34

TEL 090-6609-8817

近畿松江会

相談役 松尾 年浩

〒569-1029

高槻市安岡寺町3-14-6-404

TEL: 090-8656-9179

mail: nen.matsuo@ever.ocn.ne.jp

堀川遊覧船は おかげさまで、来年で 30 周年を迎えます。

1997 ▶ 2027

30 年間、たくさんの笑顔とともに。

松江の城下町をめぐる堀川遊覧船は、来年 30 周年を迎えます。

これまで支えていただいた皆さまへ、心より感謝申し上げます。



堀川遊覧船



堀川遊覧船管理事務所

□ 事務局から“お知らせ” □

近畿松江会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

当会は会員数を増やすことを最大の課題とし、令和5年4月より松江市内に在る高校の同窓会（松江北高校：近畿双松会・松江南高校：関西矢の原会・松江工業高校：近畿松江工窓会・松江商業高校：振商会近畿支部・旧松江女子高：皆美が丘会関西支部）より推薦幹事をお迎えし取り組んでいます。念願であった松江東高校からも今年度は2名の加入がありました。是非会員増にご協力ください。

■ メールアドレス登録のお願い

各種情報やホームページの更新などいち早くお伝えいたしたく、会員各位のメールアドレスの登録をお願い致します。アドレスはスマートフォン・パソコンいずれからでも結構です。近畿松江会 HP からはアクセスのうえ「登録はこちらから」をクリックし登録ください。

■ 当会のホームページをのぞいて下さい

<http://www.kinki-matsuekai.jp/>

ホームページにはいろいろなコーナーを設置し、日々情報を発信しています。

○お知らせの『会員作品コーナー』にあつては、季節の写真、レトロな写真ほか絵画など会員の皆様も掲示板への投稿はもちろん手作り作品・ガーデニング等々の発表をお待ちしています。

「松江へ帰ったら、懐かしい風景があった」なんてなど、是非ご紹介下さい。

□ 編集後記 □

近畿松江会は、本年、記念すべき20周年を迎えることができました。これもひとえに、会員の皆様をはじめ、近畿松江会の活動にご協力くださった多くの皆様のお力添えの賜物です。紙面をお借りして、心より御礼申し上げます。

また、本年は会長・副会長がそろって交代し、世代交代という新たな節目を迎えました。新体制のもと、近畿松江会が新たな一歩を踏み出しております。今後も皆様のご支援、ご鞭撻を賜りながら、会報の発行と総会の開催を継続していければと願っております。

さて、寄稿集「松江だんだん（わが町）」は、今号お二人からご寄稿をいただきました。改めて御礼申し上げます。皆様もぜひ、ご自身の町の魅力をご紹介ください。次はあなたの出番です。

なお、市報松江の「松江の皆さんこんにちは」は、1月号、5月号、8月号、11月号を近畿松江会が担当しております。ご投稿を希望される方は、事務局までご連絡ください。

■ 表紙(写真)について

松江市庁舎は、本年5月に新たにグランドオープンしました。これを記念し、近畿松江会は東京松江会、広島ふるさと松江区と合同で記念植樹を行いました。

表紙の写真は、その際の記念植樹の様子を写したもので、松江市よりご提供いただいたものです。

事務局 景山克雄

■ 近畿松江会 会報 第17号

■ 発行:令和8年10月(2026年)

■ 発行者:近畿松江会 〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34 竹谷設計事務所内

TEL:090-3054-9159 FAX:06-6777-2990 E-mail: osktake@ff.ij4u.or.jp

